

事務事業名		下水道水洗化促進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	都市建設部	担当課	下水道課	
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり						担当係	維持係	担当課長名	増田道久		
	施策	4 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	3 生活排水施設の整備、普及促進及び水洗化向上						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	18001	特別	1	1	2	下水道水洗化促進事業							
	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S52年度～ 年度		根拠法令 条例等	下水道法, 佐野市下水道 条例・規則		市単独事業・国県補助事業	市単独事業			
									任意的事業・義務的事業	任意的事業			
									実施方法	直営			
									事業分類	その他市民に対する事業			
									リーディングプロジェクト	該当なし			
									市長マニフェスト	該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
下水道供用開始区域内の未水洗化世帯に対し水洗化の促進を図る。 ①「広報さの」、「佐野市ホームページ」に水洗化の促進を図る記事を掲載。 ②未水洗化世帯などに対し水洗化の促進を図るため、個別訪問する。 ③下水道事業説明会等で水洗化の説明を実施する。 ④未接続世帯にダイレクトメールの発送。 ⑤各種イベントへ出展し、水洗化のPR活動をする。(処理場施設公開、どまんなかフェスタ)			①9月10日下水道の日にあわせ、9月1日号に特集号掲載 ②戸別訪問 1,321件(佐野地区:232件, 田沼地区:903件, 葛生地区:186件) ③下水道説明会(堀米町)平成27年2月23日、(小中町)平成27年2月26日 ④戸別訪問世帯に1,461通を発送 ⑤秋山川浄化センター施設公開(10月11日:204名) どまんなかフェスタ(11月2日:613名) ※水洗化促進PRリーフレット 6000部作成								
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			戸別訪問数	戸	2,535	1,321	1,200				
			説明会開催数	回	3	2	3				
イベント参加数(ブース受付数)	人	1,000	817	1,000							
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
・下水道供用開始区域内の世帯(戸数):下水道を利用できる世帯。 ・供用開始区域内の未接続世帯(下水道を使用していない世帯及び事業所)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			供用開始区域内の世帯数	世帯	23,834	24,289	25,000				
			供用開始区域内の未接続世帯数	世帯	2,177	1,700	2,400				
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
下水道の意義をPRし、下水道に接続してもらおう。 (処理区域内で、供用開始区域内の水洗化人口の増加を図る。)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			供用開始区域内で下水道に接続している割合(水洗化接続世帯/供用開始区域内世帯)	%	90.9	93.0	92.0				
			水洗化人口	人	68,712	69,771	70,700				
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
水洗化が図られている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			公共下水道等処理人口普及率(処理区域内人口/人口)	%	60.6	65.6	66.3	67.1	67.8		
			公共下水道による水洗化率(水洗化人口/処理区域内人口)	%	92.5	92.5	92.5	92.6	92.7		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)		
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投入量	国庫支出金	千円											
	県支出金	千円											
	地方債	千円											
	その他	千円	396	1,259	1,634								
	一般財源	千円	395	1,259	1,617								
	事業費計(A)	千円	791	2,518	3,251	0	0						
	事業費の内訳	千円	需用費	143	共済費	242	共済費	318					
			委託料	149	賃金	1,633	賃金	1,890					
			負担金・補助金	499	需用費	175	需用費	275					
					役務費	89	役務費	140					
				委託料	187	委託料	300						
				使用料	191	使用料	328						
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1						
	のべ業務時間	時間	960	960	960	960	960						
人件費計(B)	千円	3,735	3,783	3,783	3,783	3,783	3,783						
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,526	6,301	7,034	7,034	7,034	7,034						

事務事業名	下水道水洗化促進事業	担当部	都市建設部	担当課	下水道課	担当係	維持係
-------	------------	-----	-------	-----	------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	開始時期は不明。公共下水道の普及促進のために始めました。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	浄化槽設置済の住宅が多くなっており、トイレの水洗化もされているので、公共下水道への接続替えは、思うように進まないのが現状です。また、住民の高齢化が進み、独居世帯も多くなり、接続に消極的になっています。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	下水道事業の趣旨は、理解していますが、接続に対して費用がかかるため、すぐに接続は難しい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	未水洗化の公共下水道への接続することにより、公共水域の保全が図られる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	多額の事業費をかけ下水道を整備しても、個々の使用者が接続しなければ、水環境の保全はできません。事業所排水、生活排水を下水道施設で処理し、環境を保全することは、行政の責務です。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	下水道法では供用を開始した区域の水洗化の接続義務が規定されており、供用開始区域の公共下水道への接続を図らなければならない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	戸別訪問時に行うアンケート調査を基に地域・世帯にあらかじめ細やかな説明を行う。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	水洗化促進のための必要な経費であるため、削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	下水道未接続者に接続を促すことは、下水道事業の収益を担うものであり、それによって得られる使用料金は下水道利用者に還元されるため、公平である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
下水道はまだ整備が続いており、新たに下水道の供用開始区域が増加してきます。現状では当分の間、継続する。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			